

事業所における自己評価表結果(公表)

有限会社どれみ どれみ I

公表:令和 2年 12月 28日

事業所名 どれみ I

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	① 利用者定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか	○				
	② 職員の配置数は適切であるか (基準は児童5人に対して1名)	○				
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			建物内は、段差を無くしバリアフリーとしております。	
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			業務改善を進めるため、全職員がミーティングの場で計画から改善まで話し合いを行っています。	
	⑤ 保護者等の向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			令和2年度11月～12月にかけて、保護者様に事業所の評価をして頂きました。	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やページ等で公開しているか	○			ホームページにて、公表しております。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	同法人の別事業所では、2020年度第三者による外部評価を実施、順に外部評価を依頼し、業務改善につなげていきたいと考えています。	外部による評価は実施していませんが、今後機会があれば積極的に実施していきます。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			最低月1回の職員研修を行っております。	
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	○				
	⑩ 子ども適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			全てのお子さまにS-M社会生活能力検査を行い、生活能力の評価を行っております。	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			専門職(ST・OT)を中心にプログラムの立案をチームで行っています。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○			利用児の能力や特性に応じてプログラムを立案しております。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○				
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか	○			全てのお子さまに対して、能力に応じた個別支援又はグループ支援を行っております。	
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日事業所内ミーティングを行っております。	
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りをおこない、気付いた点等を共有しているか	○			児童発達支援管理責任者を中心にミーティングを行い、支援内容の振り返りを行っております。	
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証改善につなげているか	○				
⑱ 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			全てのお子さまとその保護者に対して6ヶ月ごとにモニタリングを行っております。		
関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者が参加しております。	
	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○				
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等の連絡体制を整えているか	—	—	—		対象児なし

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等の中で情報共有と相互理解に努めているか	○				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等への移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	—	—	—		対象児なし
	25	児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			必要性に応じて、連携を取らせて頂いております。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○			どれみ I をご利用のお子様は、地域の幼稚園・保育園に通園をしているため、特に障害のない子どもの活動については、設定しておりません。
	27	(地域自立支援)協議会等への参加しているか	○				
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○			今後はコンセンサスペアレンティング初級指導者の資格を持つ職員が中心となり家族支援を行っていく予定です。
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明させて頂いております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			面談時や茶話会等で子育て等に関するアドバイスをさせて頂いております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			全事業所保護者様対象の「おしゃべりの会」各事業所ごとの「茶話会」を定期的に開催しております。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもの保護者に対して発信しているか	○			月に一度「どれみだより」「お知らせ」を発行し、ホームページでも各事業所の活動を発信しています。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○			PCファイルはID・パスワードを入力することで管理しています。またSECURITY ACTION(二つ星)を宣言(情報セキュリティ対策に取組むことを自己宣言する制度)を実施しております。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		
	38	周知しているか緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年に1回程度、虐待防止に関わる社内研修を行っております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得たうえで個別支援計画に記載しているか		○			該当者がいない為、現在は未実施
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	○					
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有されているか	○			小さな事案でも「ヒヤリハット」を提出し、全事業所で共有しています。		